

教材・支援機器活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		平成(29)年度 iPadを活用した思考の整理と学習における活用
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input checked="" type="checkbox"/> その他(日常生活)
	単元・題材名	思考の整理
	授業の目標	ロイロノートやマインドマップを活用して、思考を整理する。
	観点別学習状況の評価の観点	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (6)年 (1)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input checked="" type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の課題(特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input checked="" type="checkbox"/> 読む <input checked="" type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 読み書きにつまづきがあり、発達障害の診断が出ている。 教科書や配布プリントの見えにくさ、書くことの負担感から学習への拒否感や無気力さ、学習意欲の低下が見られた。 授業中に書いたノートは見返しても理解ができないことが多く、復習をすることが難しい。 学習内容や生活の中での出来事を忘れてしまうことが多い。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像	機器:iPad アプリケーション:ロイロノート 
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) 簡単な操作と必要だと感じた時に即時にメモを作成でき、また作成したメモの順番や繋がりを視覚的に表現する。
授業に授業展開支援	授業展開と画像	(1)アプリケーションの説明と練習(1時間) ・自己紹介をテーマにロイロノートを使用する。自分を説明する上でキーワードになる言葉やものを文字や写真を用いて1枚ずつ作成し、並び替えながら順番を決める。 ・作成したノートを他者に見せて、ロイロノートを使って伝える経験をする。 (2)テーマを決定し自分なりにロイロノートを作成する。(計13回) ・テーマを対象児と一緒に決定し、家庭等でロイロノートを作成してもらう。 ・テーマは、歴史上の人物紹介や休暇中の過ごし方などを設定した。 (3)生活や学習のメモや備忘録としてロイロノートを活用するように伝える。 ・算数や理科といった教科毎にノートを作成し、公式や実験の方法などをメモしておく。 ・必要に応じて確認し、学習や復習に利用する。 ・対象児と会う時には、この1週間の出来事を尋ねたり、その時の気持ちなどを尋ねる。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	・覚えておきたい事や、情報が多く覚えられないだろうと感じたことについては自らロイロノートにメモ代わりにノートを作成する様子が見られるようになった。 ・言葉ではうまく伝えられない時に、ロイロノートを使って相手に伝えることが増えた。 ・初めのうちは、文章を長々と書いていることが多かったが、次第に伝えたいことのポイントをロイロノートに作成し伝えたい相手に見せることが増え、相手からの質問に対して自分なりに答えることができた。